

すべては子どもたちのシアワセのために

～未来を創る新しいカタチ～

令和6年度会長挨拶



さいたま市PTA協議会
会長 郡島 典幸

令和6年度、会長を務めさせていただく郡島典幸（ぐんしまのりゆき）です。昨年度に引き続き担当させていただくこととなりました。どうぞよろしくお願いたします。

昨年度は使途不明金の対応に始まり、会員の皆さまには多大なるご心配とご迷惑をおかけしました。大変申し訳ありませんでした。市P協の副会長を中心に、各区理事の皆さまのご尽力と、会員の皆様にご協力をいただき、無事第三者委員会の調査を終えることが出来ました。改めて御礼申し上げます。今後の対応につきましては、専門家を交え相談しておりますので、諸々決まりましたら改めてご報告いたしますので、お待ちください。

さて、今年度も以前より掲げられてきた基本方針「さいたま市の宝である子どもたちの健全育成を目指し、共に学び、共に成長出来るPTA活動を実践する。」を継承し、皆さまと一緒に子どもたちのために活動してまいります。また、PTAは成人教育の場でもあります。私たち保護者がPTA活動を通して学び成長することが、子どもたちの健全育成のためにも大切だと考えておりますので、みんなで協働してまいります。

昨今PTA不要論をよく耳にするようになりましたが、PTAの役割とは何か、再認識する必要があると考えています。子どもたちに直接届ける事業や、社会教育団体として親が成長するための事業も必要ですが、保護者が学校に自由に出入り出来るのもPTAならではの、親が学校に在ること得られるメリットは過分にあります。

様々な事情でご支援いただけた方が減っているためスリム化を検討している学校も多いと聞きます。基本は「出来る時に、出来る人が、出来る事を」で、各校の事情に合わせた活動を継続していただけますと幸いです。今年も1年間、どうぞよろしくお願いたします。

新役員紹介

正副会長・常任理事

会長 郡島 典幸 (緑区・東浦和中)

副会長 飯塚 清 (桜区・田島小)

出口 裕貴 (中央区・与野本町小)

小日向 哲典 (西区・馬宮東小)

中村 学 (桜区・土合中)

和田 洋樹 (緑区・美園南中)

菅野 千香子 (中央区・上落合小)

小熊 誠 (中学校長会、北区・日進中)

常任理事 小日向 哲典 (西区・馬宮東小)

井山 智子 (北区・泰立小)

富田 敏弘 (大宮区・上小)

小島 毅士 (見沼区・島小)

出口 裕貴 (中央区・与野本町小)

飯塚 清 (桜区・田島小)

小島 正大 (浦和区・本太小)

郡島 典幸 (緑区・東浦和中)

事業委員会

委員長 阿部 達哉 (中央区・与野南中)

副委員長 北原 浩勝 (西区・土屋中)

菊池 敏子 (北区・植竹中)

與那城 淳 (大宮区・桜木中)

一場 宣俊 (見沼区・七里中)

田澤 崇 (桜区・上天久保中)

山本 夕紀 (浦和区・常盤中)

内藤 昌紀 (緑区・尾間木中)

監事 永山 誉 (小学校校長会、浦和区・高砂小)

小川 夏奈 (緑区・美園小)

小竹 菜実 (西区・宮前小)

小林 景子 (大宮区・三橋中)

鈴木 茂喜 (浦和区・本太中)

濱野 洋一 (北区・植竹小)

栗井 智生 (見沼区・春野小)

広報情報委員会

委員長

副委員長



令和6年度広報紙づくり講習会開催！

5月20日(月)、浦和区にある浦和コロン7階コロンホールにおいて、令和6年度広報紙づくり講習会が開催されました。

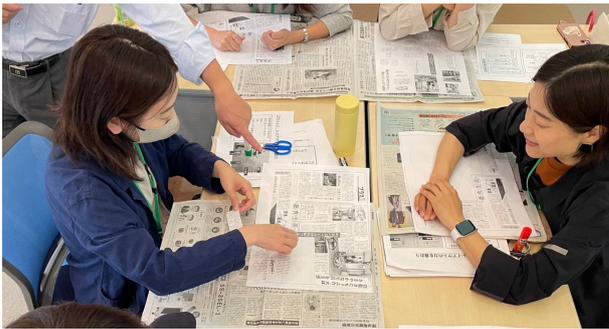
当日は、日本教育新聞社元取締役編集局長である矢吹正徳氏を講師に迎え、31校・総勢63名の広報紙担当委員の皆様のご参加を得て、活気ある講習会となりました。参加者は矢吹正徳氏から「魅力ある広報紙づくり講習会」と題した講習を受け、皆さん熱心にお話に耳を傾け、積極的に質疑をしていました。

また、ワークショップ形式の講習では、お互いに活発に意見を交換し、時折談笑を交えながらも真剣に作業に取り組んでいる姿が印象的でした。矢吹正徳氏の「人生の中で広報紙や新聞を制作する機会はありません。PTA活動ならではの経験とやる。ここで培った経験を是非とも今後の糧にしたいだけだ。」といったお話はPTAの目的の一つである成人教育にあたると思われる。

参加者の皆様がここで得た経験をもとに、各校PTAの魅力を広報紙で発信し、ますますPTA活動が充実し発展することを願っております。



■当日の講師 矢吹正徳氏



■講習会当日の会場内

粒ぞろいの小学校、中学校は躍進
— 令和5年度広報紙コンクール

公益財団法人理想教育財団理事
元日本教育新聞社取締役編集局長
矢吹正徳

令和5年度広報紙コンクールは、小学校の上位は粒ぞろいで僅差のうちに入賞作品が決まり、中学校の応募作品で評価を得た上位群は、小学校の上位群と比べても遜色がなく、その躍進ぶりにはちよっと驚かされました。

コロナも5類へと移行したことで、学校の日常は戻ってきた様子は、広報紙を飾った学校行事などの紙面から明らかです。コロナ禍の影響が残ったとすれば、発行回数が増え、コロナ禍前に戻っていない広報紙がいくつかあったことでしょうか。広報紙のデジタル化の試みも生まれているためかもしれません。

せんが、広報紙づくりのノウハウがコロナ禍によって継承されていない部分があることが感じ取れます。

紙面的には、児童・生徒の躍動はどの紙面からも伝わってきました。入賞した広報紙群は、PTAの1年間やPTA活動のリアル、給食、地域活動などをテーマアップした、いわゆる企画記事などが紙面に厚みを感じさせる出来栄になっていました。

少し残念だったのは、いろいろと聞いたリ、調べたりした内容を、もっと大きくアピールした記事にすればよかったのに、と思えるものがいくつかあったことです。

最後になりますが、保護者が主体となっている、さいたま市の審査方式は誇りに感じ、取り組みだと思えます。広報紙や対面での情報交流を通して、子どもの育ちや学校生活、保護者自身の人生が豊かなものになることを祈念します。

令和5年度
広報紙コンクール受賞

【小学校の部】

賞	広報紙名	PTA名	賞	広報紙名	PTA名
最優秀賞	みみずく	上野台小学校	最優秀賞	さいたま八王子	八王子中学校
	みゆみ	野影小学校	賞	嵐	有野東中学校
	高まがけ	園影小学校	優秀賞	希望と輝	栗原中学校
	ほんまふたより	大野北東小学校	賞	大舞	大野中学校
	あなまの森	片瀬小学校	賞	とまむ	常盤中学校
優秀賞	あひこ	大宮南小学校	賞	おおとり	埼玉大学付属中学校
	あひこ	つばき小学校	賞	つばい	土合中学校
	あひこ	大宮南小学校	賞	なごみ	七情中学校
	あひこ	大野北東小学校	賞	あま	那珂中学校
	あひこ	大野北東小学校	賞	ほこや	藤岡中学校

【WEB版】

最優秀賞	希望と輝	栗原中学校
優秀賞	あま	那珂中学校

さいたま市PTA協議会
広報情報委員会

令和5年度広報紙コンクール

さいたま市PTA協議会の事業として開催された今回のコンクールは例年のコンクールと違い、
①最優秀賞を新設 ②WEB版を新設 ③各校に対し、高評価ポイントのフィードバックを実施しました。各賞の表彰式は、令和6年度役員セミナー内で表彰式の予定をしています。

また、最優秀賞の3校については、役員セミナー内の【事例紹介】を予定しており、各校が広報紙で魅力あるPTA活動を伝える意義などを共有することによって、各校の広報活動が活性化し、家庭×学校×地域の連携がより強固となるように願い、市P協独自事業として展開をしていきます。

最優秀賞 中学校・特別支援学校の部

最優秀賞 小学校の部

WEB版

※その他受賞作品については別紙記載。

令和5年度役員セミナー開催

9月27日(水)市民会館おみや(Yaroboo)小ホールにて令和5年度役員セミナーが開催された。さいたま市内各小中学校から約120名のPTA役員が参加し、教育や様々な活動に対するPTAのあり方について多くの知見と気づきを得る場となった。

冒頭さいたま市PTA協議会郡島会長よりさいたま市PTA協議会の活動内容や理念について説明が行われた。PTAの役割として、子ども達の安全・保護者・教職員とのコミュニケーション促進、学校イベント支援、教育政策への関与、ボランティア活動促進などが挙げられた。現在のさいたま市PTA協議会が置かれている現状を踏まえた各PTA組織の役割や考え方について非常に丁寧な説明が行われた。

続いて、さいたま市教育委員会生涯学習部部長の辻様より「PTAを取り巻く今日的課題と今後への期待」すべての子どもの幸せの実現のために」と題して、さいたま市の教育が目指す人間像、教育を取り巻く今日的な課題、PTAに期待することの3点について講和いただいた。一人ひとりがWell-Beingを実現する為の困難への向き合い方、学校や地域、PTAに求められていることについては、参加者に沢山の気づきを与えることができたのではないだろうか。

最後に、各区連の活動内容を沢山の写真と共に紹介する動画が上映された。様々な活動の様子は、辻様から提言された「地域との架け橋」「つながりを大切に」「子どもに寄り添う」などすでに実践されていることを物語っていた。

さいたま市教育委員会との懇話会

指導1課「部活動地域移行について」

これからは、子どもたちが学校という枠にとらわれず、やりたい部活動に楽しく参加できる、地域で運営する「クラブ」の設立が望ましい未来構想だという。

場所については市立中学校を利用し、来年度から県が立ち上げる人材バンクとの連携を図る。資金は利用者からの徴収も否めないが、「さいたまMYSCHOOLファンド」の寄付金利用も考えている。

教育財務課「さいたまMYSCHOOLファンドについて」

ふるさと納税サイト等を利用し、寄付金の使い道に「さいたまMYSCHOOLファンド」を入れ寄付を募っている。市立小中学校、特別支援学校が対象の「学校応援型」、すでに予算化され実施が決定している事業(一般財源100万円以上)が対象の「事業応援型」がある。

令和6年2月現在、学校応援型120件(うち114件は市外から、4件は市内個人)、2件は企業による、事業応援型56件。全体の約608万円のうち、約338万円は学校指定の無い寄付の為、市内164校に2万円ずつ分配され、各学校で備品や消耗品の購入資金に充てることになっている。現時点ではこの用途以外には使用できない。

生涯学習振興課「PTAについて」

毎年PTAに関する相談が200~300件程度寄せられる。その中で代表的なのは、通学班の編成について。PTAで担当している所、地域の子ども会が携わってくれる所、通学班がない所と様々だが、PTA非加入を理由に「通学班編成に入れない」と定義するのはおかしいとしている。

また、PTAへの加入は任意であり、保護者だけでなく教職員においても、「PTAへの任意加入」についての説明と入会届が必要と改訂されている。

「PTA活動総合補償制度」説明会

「PTA活動総合補償制度」説明会には多くのPTA役員が参加し、PTA活動に関する保険の種類と内容について説明を受けた。まず市P協今川副会長より、各保険の特徴が説明された。

単位PTAで加入し、PTA活動中の傷害事故や損害賠償に備えるのが「PTA活動総合補償制度」。

PTA会員が個人で加入し、我が子の万が一に備えるのが「児童・生徒ワイド補償制度」。

そして、来年度から新たにスタートする「サイバー・情報漏洩保険」は、単位PTAで加入し、PTA活動をする中で個人情報漏えいに備える保険で、契約者と保険料負担はさいたま市PTA協議会になる。各保険会社様より保険内容や申込み方法の説明があり、皆真剣な様子で説明に耳を傾けていた。

最後に郡島会長より、自身のIT会社勤務での経験を元に、今後一層懸念される個人情報漏洩のリスクについて語られ、ゼロにするのが難しいリスクにしっかりと備えることで、安心してPTA活動に取り組んで欲しいという言葉で幕を閉じた。



根木慎志さんの人権啓発講演会

人権啓発講演会では、シドニー2000パラリンピック男子車いすバスケットボール日本代表キャプテンの根木慎志さんにご講話いただき、動画配信にて多くの方に視聴していただいた。根木さんは高校三年生の時、交通事故で車いす生活となり活躍。「出会った人と友達になる」を motto に、これまでの36年間に3,600回以上、約80万人に講演やバススポーツ体験授業を行ってきた。この活動が評価され、2016年に法務大臣表彰(ユニバーサル社会賞)を受賞された。

根木さんは、障がい者の力強さや可能性を広めるため、社会変革を促す活動を展開。車いすに乗ることで直面する困難やそれを克服するための努力と周囲のサポートの重要性を訴えている。そして、車いすバスケットボールを通じて「翼」を見つけ、その経験を共有することで障がい者や異なる状況にある人々が輝く社会を目指している。また、根木さんの活動は多くの人に勇気と希望を与えている。パラリンピックなどのイベントを通じて異なる能力を持つアスリートたちの力強さや美しさを伝え、社会の偏見や制度上の問題にも言及。車いすバスケットボールの経験を子どもたちにも伝え、異なる状況にある人々に対する理解を深める啓発活動も行っている。障がい者の視点からの社会課題へのアプローチや異なる能力を持つ人々が自らの翼を見つけた重要性を強調されており、今後もご自身の経験とメッセージを通じて多くの人々に希望と力を与え、社会の理解を広げることが期待される。

日本PTA全国協議会退会に伴うさいたま市PTA協議会の取り組み

さいたま市PTA協議会として、公益社団法人日本PTA全国協議会を退会することに伴い、当協議会会員への不利益などが無いように配慮した施策として、下記6つの「未来を創る新しいカタチ」を実施していくことにしました。

1 個人情報漏洩補償制度の新設

- ▶ 協議会での一括契約によるスケールメリットを活かし、申し込まれた各校PTAについては保険料の負担なく個人情報漏洩保険に加入可能【個人情報漏洩補償制度内規制定(2024.1.24)】

2 独自の研究大会開催

- ▶ 令和6年度は、役員セミナーを拡大し、講演会や各校取り組み紹介などを実施
- ▶ 広報紙コンクール表彰式を開催



3 幼小中学校向けデジタルサービス「がくぷり」の割引提供

- ▶ 市P協に所属する単会の導入数に応じて利用料金を割引
- ▶ がくぷりの使い方や操作方法に関して、質問や情報共有ができるオープンチャットを開設



4 各種表彰制度の見直し

- ▶ 三行詩に代わる新しい事業を検討
- ▶ 広報紙コンクールで最優秀賞を新設
広報紙コンクール受賞校は役員セミナーで表彰【表彰規程改正(2024.4.24)】
(贈呈・授与)5条
表彰状の授与・感謝状の贈呈は、定期総会、研究大会等に伴い行う



5 子どもの顔が見える事業の見直し

- ▶ 補助金の額の上限を5万円から10万円に変更し、当該年度申請もOKとした【子どもの顔が見える事業補助金交付要綱改正(2024.1.24)】



6 区連会場費負担

- ▶ 区連主催の総会、正副会長会、校長会長会、会長会等の会議開催のための会場費を市P協で負担
- ▶ 会場費負担額の合計は各区連につき年間50,000円を上限【会計規程改正(2024.3.27)】



さいたま市PTA協議会 「児童・生徒ワイド補償制度(こども総合保険+自転車総合保険)」 中途加入受付中

本広告は制度の概要のみを記載したものです。ご加入に際しては重要事項説明書をよくお読みください。不明な点等がある場合には代理店までお問い合わせください。

埼玉県自転車条例
さいたま市自転車条例
に対応しています!

団体割引等適用により
保険料が割安!

自転車事故等による損害賠償責任も
無制限で補償

※ご家族全員が対象 ※国外は3億円まで補償となります。

示談交渉サービス*付き!

小学5年男子児童の
自転車衝突で母親に
約9,520万円の
賠償命令(神戸地裁判決)

*示談交渉を行う場合は、被保険者および被害者の同意が必要です。国内のみのサービスとなります。

ケガの補償
24時間補償で安心!

- ◆ 学校内でのケガはもちろん、休日も含め24時間ケガを補償!
- ◆ 地震等によるケガも補償!
- ◆ 細菌性食中毒、ウイルス性食中毒や熱中症による死亡・後遺障害・入院・手術・通院も補償!

扶養者の方が事故で万一の際に
育英費用を補償

高校3年間と大学等の合計で
約943万円の教育費がかかります!

出典:株式会社日本政策金融公庫
「教育費負担の実態調査結果」(令和3年度)

プランによって補償項目が異なる場合がありますので、詳しくはパンフレットをご確認ください。

2024年6月現在の内容です。

取扱代理店・扱者

AIGパートナーズ株式会社
さいたま支店

〒330-0846 さいたま市大宮区大門町3-54
TEL 0120-991-341(通話料無料)

(受付時間:9:00~17:00 土、日、祝日、年末年始を除く)

ご好評につき、
「中途加入」受付中です。

詳しくは左記取扱代理店・
扱者までご連絡ください。

〈引受保険会社〉

〔幹事会社〕 **AIG損害保険株式会社**
担当支店: 埼玉支店

〒330-0846 さいたま市大宮区大門町3-54
TEL: 048-641-4050

〔非幹事会社〕 東京海上日動火災保険株式会社
あいおいニッセイ同和損害保険株式会社

S-240653(2025-06)

令和5年度



Thank you!

広報紙コンクール受賞

【小学校の部】

【中学校・特別支援学校の部】

賞	広報紙名	P T A 名
最優秀賞	かみおちあい NEWS	上落合小学校
	みなみ	与野南小学校
優秀賞	むつみ	仲町小学校
	ぬまかげ	沼影小学校
	ほんまちだより	与野本町小学校
	松ぼっくり	大砂土東小学校
	やなぎの樹	片柳小学校
	nishicco	大宮西小学校
	はばたき	つばさ小学校
佳作	みぬま	見沼小学校
	すずや	鈴谷小学校
	ひがし	大宮東小学校
	おおさと	大砂土小学校
	せんだん	宮原小学校
	北斗	大宮北小学校
	しびらき	新開小学校

賞	広報紙名	P T A 名
最優秀賞	さいたま八王子	八王子中学校
優秀賞	東風	与野東中学校
	希望を胸に	美園南中学校
	大樹	与野西中学校
佳作	ときわ	常盤中学校
	おおとり	埼玉大学附属中学校
	つどい	土合中学校
	ななさと	七里中学校
	なぎさ	岸中学校
	はらやま	原山中学校

【WEB版】

最優秀賞
優秀賞

春里中学校
片柳中学校

さいたま市P T A協議会
広報情報委員会



令和6年度

さいたま市優良PTA 団体表彰校

春里中学校

片柳小学校

第二東中学校

片柳中学校

与野南小学校